

2026年2月4日

信州学び円卓会議
ともつくフォーラム

2つのアセスメント結果を 生かした体育授業

学びの改革パイオニア校での「ゴールボール」の実践を通して



上田市立東小学校 附田賢一





目次

- 01 2つのアセスメントとは？
- 02 アセスメントから授業改善シートへ
- 03 アセスメントから見えてきたこと
- 04 授業の様子
- 05 児童たちの振り返り
- 06 参観者の声
- 07 検討事項・今後に向けて

01

2つのアセスメントとは？

01

LITALICO教育ソフト



特許取得

特許番号：特許第7448699号 (P7448699)
 発明の名称：児童生徒等計画作成支援システム、計画作成支援装置、および児童生徒等計画作成支援方法

02

しなのきFinder



【子どもを観る】 【子どもの声を聴く】 【子どもと対話する】



しなのきFinderにより子どもの状態を把握する
学習観・子ども観の転換

01

LITALICO教育ソフトのアセスメントって？

01

以下の項目からアンケートに回答し、子どもの特性や困り、および、今後自立していくにあたって優先的に習得をおすすめするスキルを把握。

- 「学習面の困り」
- 「スキルの習得状況」
- 「行動面の困り」
- 「感覚と運動の困り」
- (• 「保護者へのアンケート」 ※今回は未実施)

02



01

しなのきFinderって？

01

「しなのきFinder」の活用



「しなのきFinder」は、数値化しにくい子どもの状態を測定する調査

世界的に実施されているSDQ (Strength and Difficulties Questionnaire: 子どもの強さと困難さアンケート) を取り入れ、学びの土台となる「安心して過ごせる環境」や「周りの人との関係」に関する質問と、「自ら学びを進めるための学習意欲」や「学習スキル」に関する質問により構成された、子どもの状態や非認知能力を測定する調査。

※信州大学教育学部と長野市教育委員会で共同開発

調査の結果を【みらい】【きずな】【じりつ】の3つの観点で数値化し、「学校レポート」「学級レポート」「個別レポート(学校用)」をデータにて学校へ返却し、学校づくりや学級学年経営、児童生徒理解に活用する。また、「個別レポート(家庭用)」を児童生徒・保護者に返却し、自己理解や物事の考え方、今後の取組に活用する。

対象者：小学4年生～中学3年生

実施時期：年2回(春・秋)

実施方法：1人1台端末より入力フォーム(Web)へ回答

実施時間：20～30分

02

3つの観点	9つの行動
未来に向かって 自分を高める 【みらい】	夢や目標に向かって継続して努力する(意欲・粘り強さ等)
	自信をもって行動し新しいことに挑戦する(自信・チャレンジ等)
	自ら問いをもち、自ら学びを進める(自学自習・計画性等)
他者を思いやり つながる 【きずな】	自分の考えを伝え、他者の考えを聴く(コミュニケーション力等)
	自分を受け入れ、他者を尊重する(自己受容・他者理解・共感性等)
	折り合いをつけながら、他者と協働して取り組む(協調性・折衝力等)
自分をよりよい 状態にする 【じりつ】	規範意識をもち、ルールやマナーを守る(規範意識・自制心等)
	自分の感情や行動をコントロールする(自己コントロール・楽観性等)
	経験から学び、前向きに取り組む(回復力・適応力等)

引用参考：長野市HP「しなのきプランII概要版」

わたしの授業改善

LITALICO より見えてきた子どもの特性について

しなのきFinderより見えてきた子どもの非認知能力について

手立て (別紙より選択または記入)	見返し
----------------------	-----

筋道を立てて考えることが苦手

手立て ・5W1H等の文書パターンを掲示。 ・スモールステップ ・視覚支援	見返し
--	-----

やってみようレベル
上 (できれば)
下 (やってみる)

手立て ・単元の導入で、問いの解決に向けた計画を立てたり、見通しをもったりする場を設定。	見返し
---	-----

自学自習・計画性↓

活性的ポジティブ感情 (意欲的な気持ち) ↓

自信・チャレンジ ↓

自己肯定感 ↓

手立て ・自らが問いをもつための工夫。 ・友だちの気持ちやよさを考えたり認めあったりする場面設定。	見返し
---	-----

手立て ・グループ内の役割分担明確に。 ・少人数グループ ・関わりが持てる子との編成	見返し
---	-----

他者理解・共感性 ↓

コミュニケーション力 ↑

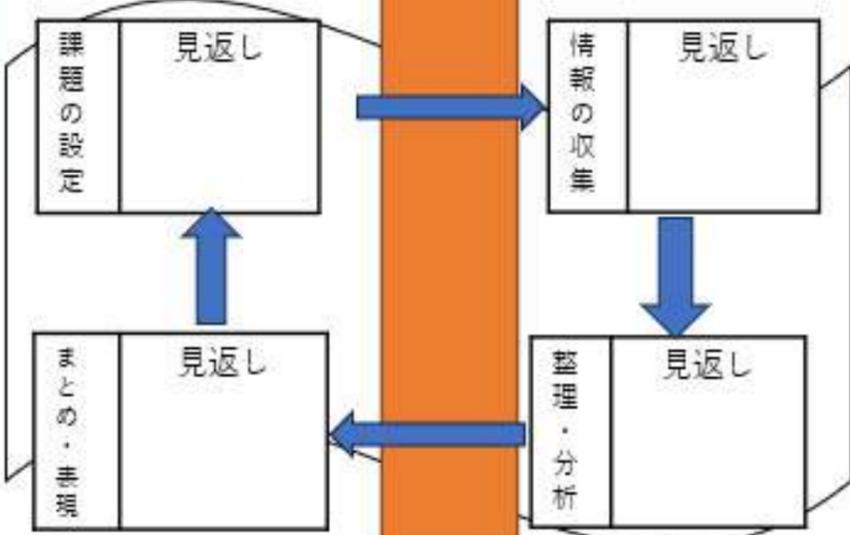
単元(授業)の探究のプロセスを意識しよう!
※このプロセス通りでないときもあります。
【単元】

手立て ・学習の流れや課題をはっきりと提示する。 ・問題数の調整や選択する場面	見返し
---	-----

手立て ・指示は短く端的に伝える ・視覚的わかるカードの提示 ・タイマーの使用。 ・コントロールできた良さを振り返られるようにする。	見返し
--	-----

自己抑制・忍耐力 ↓

回復力・適応力 ↑



指示の受容

時間の管理

「実行機能」(コントロール)に困り感のある児童



「授業改善シート」を生かした授業実践



しなのきfinderから

- ① 「**活性的ポジティブ感情**（低）」
「**適応力**（高）」 ➡ パラスポーツ
『ゴールボール』
- ② 「**自学自習・計画性**、**活性的ポジティブ感情**（低）」
「**コミュニケーション能力**（高）」 ➡ ・作戦板（磁石・マーカー）
・iPadでの動画撮影
- ③ 「**自己肯定感**・**活性的ポジティブ感情**（低）」
「**協調性**（高）」 ➡ ・作戦⇔ゲーム・・毎時4ローテ
・授業評価 & 学び振り返り

「授業改善シート」を生かした授業実践



LITALICO から

- ① 「**単元導入時に問いや見通しをもつ工夫**」
「**友だちの気もちやよさを認め合う**」
➡
 - ・山王小ルール、方法を考える
 - ・作戦タイム、振り返り等
- ② 「**学習の流れや課題を明示**」
「**計画の流れや見通しがもてる**」
➡
 - ・作戦板に課題を明示
 - ・前単元バレーと同じローテ
- ③ 「**タイマー使用、視覚的支援**」
➡
 - ・デジタイマーで活動
 - ・ローテ、ルールを視覚化
- ④ 「**役割分担を明確に**」
「**関わりが持てる編成**」
➡
 - ・学習カードで明確な分担決め
 - ・生活班で編成
- ⑤ 「**スモールステップ**」
➡
 - ・見て試合→目隠しで試合
 - ・ボール、ルールの難易度等

02.5 なぜ「ゴールボール」？

01

一般的(メジャー)な種目(競技)からの脱却

- 学習指導要領に例示されている種目
 ルールの工夫、簡易化して、と記載あるが…。
- 単元最初から「どうせ無理」
 「(苦手だから)やりたくない」の児童生徒

⇒ • 技能面での個人差がほとんどなく、
 全員が未経験の種目

- 今までやったことのない体育
 (教師も児童生徒も)

02

県の体育センター研修受講

- 「やってみよう！パラスポーツ」
 にて、車椅子バスケットボール・
 ゴールボールを体験
- 小学生でもゴールボールができる
 工夫を教わる

⇒パラ「体験」ではなく、
 「単元」としてできないか？

03

児童たちの声

- 単元の最初、パラ五輪を観る
 (各競技のダイジェスト映像)
- 肢体不自由、視覚障がいなどがあっても
 ひたむきに競技(大会)に臨む姿
 国や言語を超えてたたえ合う姿

⇒ 「やってみたいパラ競技は
 どの種目ですか？」に対し
 13名／41名が
 「ゴールボール」と記載

03

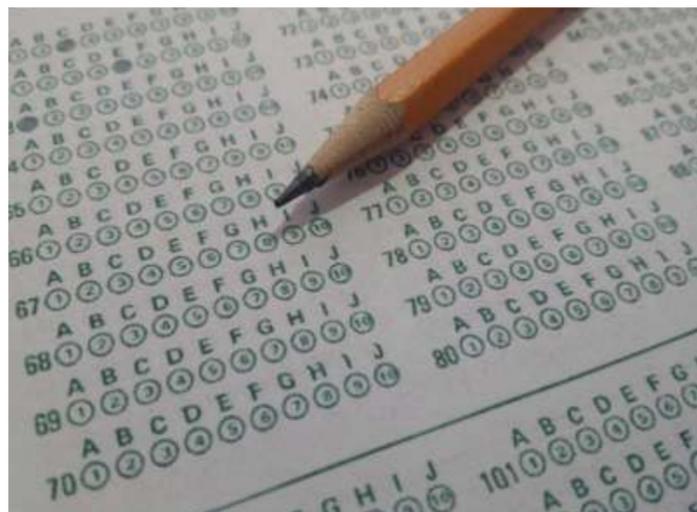
アセスメントから見えてきたこと

01

教師側が「気になる子」は、「自己肯定感」の数値が低かった

- ・学力の高低に関わらず、「自己肯定感」の数値が低い傾向。

⇒体育の授業では「できる」「できない」がハッキリしやすいことが自己肯定感に影響している？

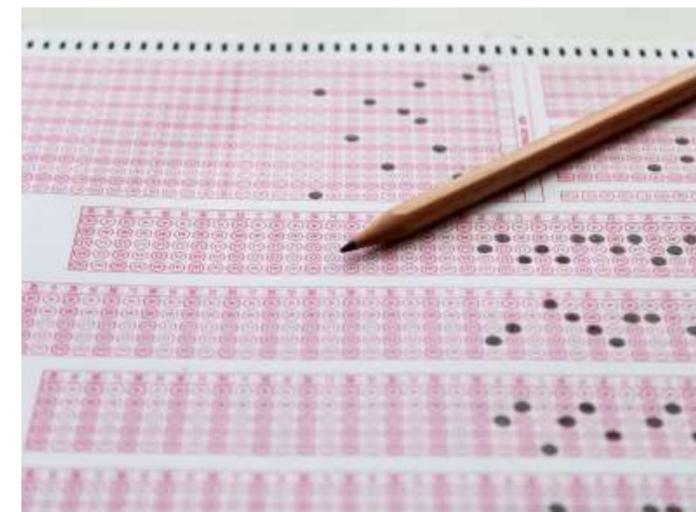


02

学習面に困り感がある児童ほど、全体的に数値が低い傾向

- ・特に「意欲」「粘り強さ」「自己受容」「自己コントロール」などで低い傾向。

⇒体育の授業では、どのようにこれらを高めていくことができるか？



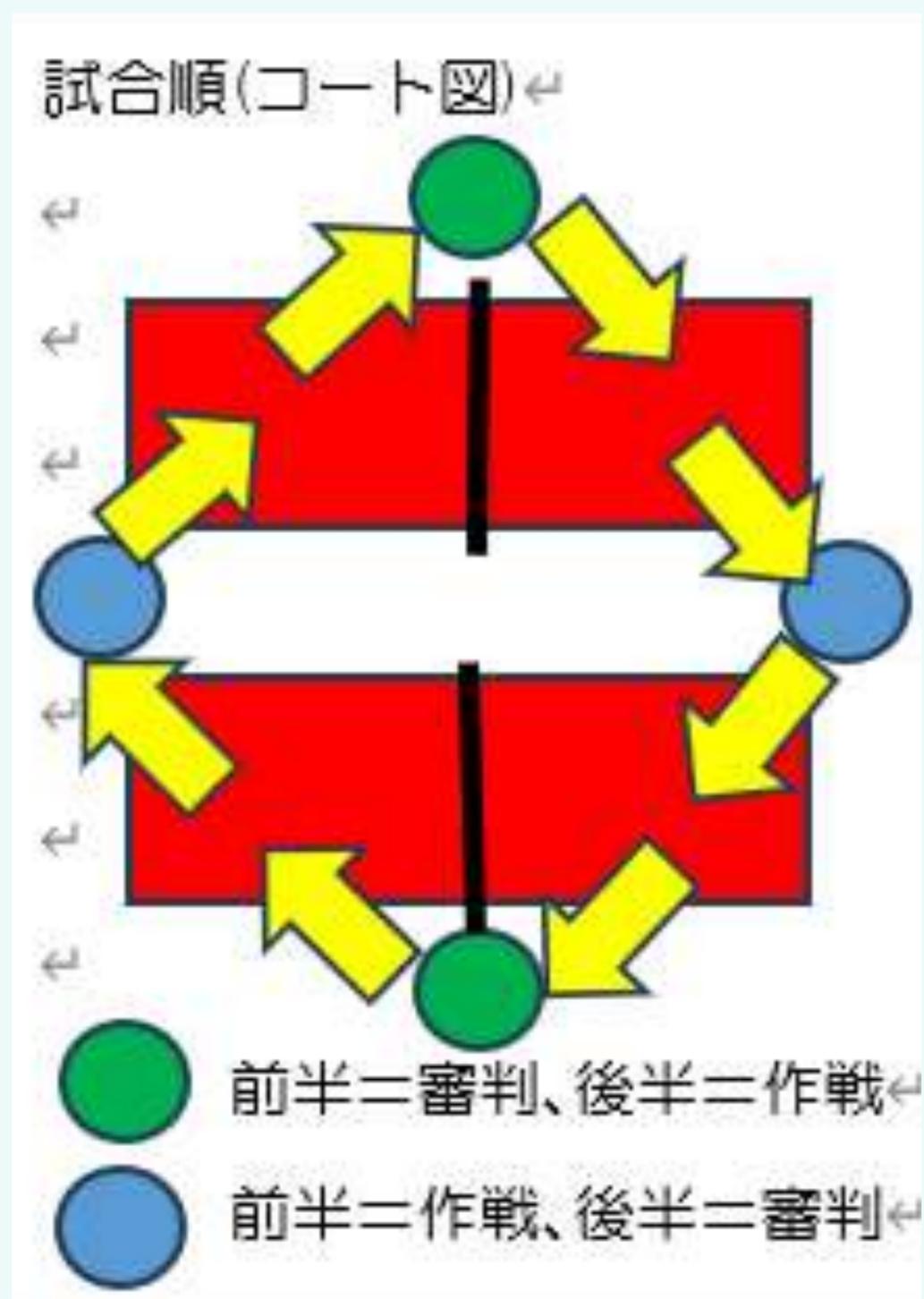
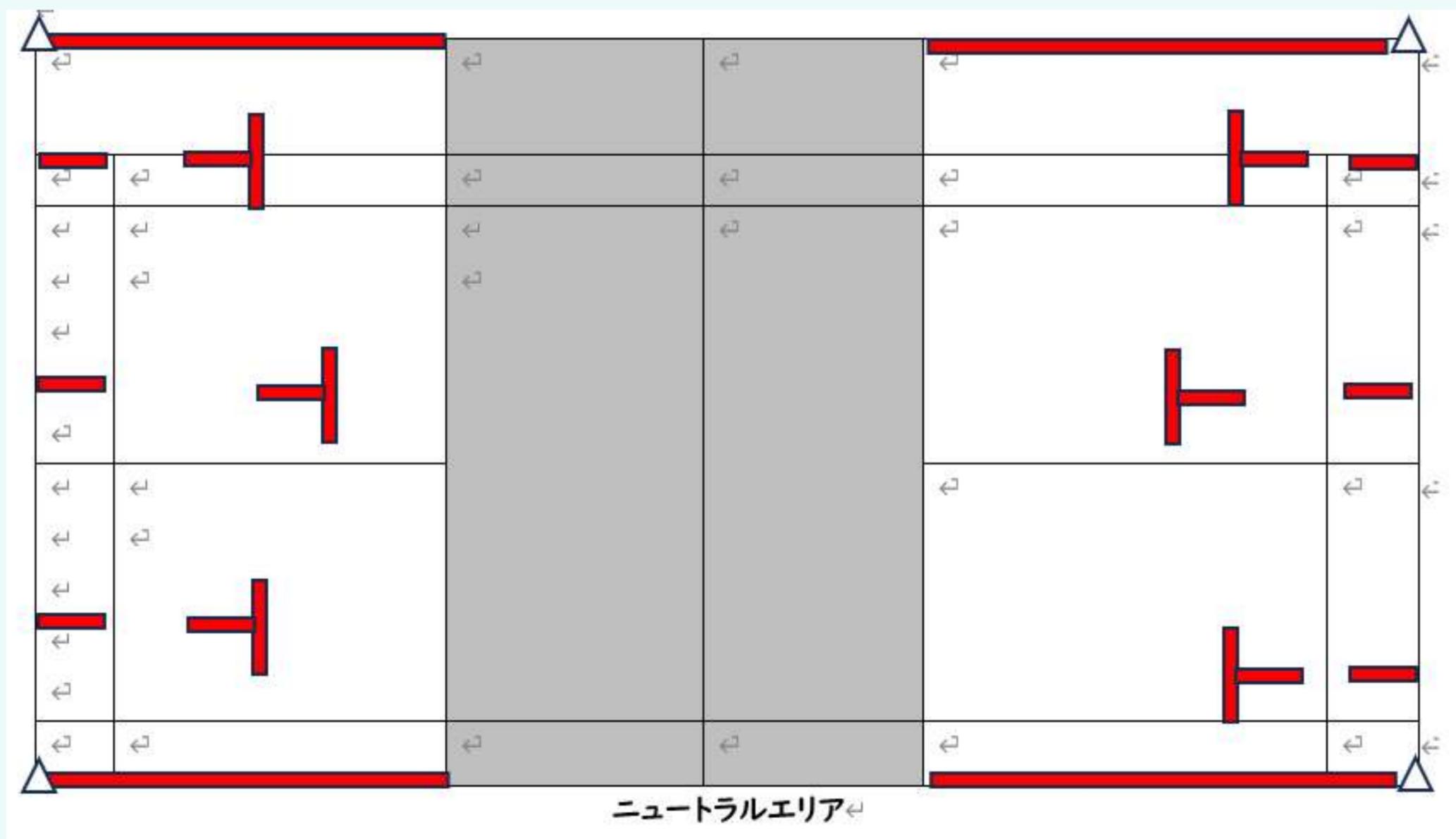
04

授業の様子

当日の参観者

- 長野県教育委員会 教育政策課
 - // 特別支援教育課
 - 北信教育事務所
 - 長野市教育委員会
 - 長野県内教職員
(東信・北信・中信・南信 各ブロック)
(附属長野小・中、附属松本小、附属支援学校)
 - 信州大学 教職大学院生
 - 上越教育大学 教職大学院生
- 計50名





日本の学びの『新しい当たり前』を
信州から創る

学びの達人キャラクター「信州びび」
©長野県教育委員会信州びび助

認知や発達の特徴に応じた学びの充実実証事業
パイオニア校の先生方は
どう取り組んだのか

全ての児童生徒を
包み込む学びの環境を
実現したい！

個々の特性を
把握するための
アセスメント
をどう活用？

教師の
マインドチェンジ
をどう起こす？

全ての児童生徒
を包み込む
授業デザイン
をどう考えた？

チームとして
意識を高める

教師の目線から
子供の目線へ

アセスメントは
「きっかけ」づくり

子供自身が
自分の特性を知る

アセスメント
を活かした授業

「子供の姿」が
教師の意識を変える

チームとして
意識を高める

教師の目線から
子供の目線へ

個々の特性を
把握するための
アセスメント
をどう活用？

教師の
マインドチェンジ
をどう起こす？

全ての児童生徒
を包み込む
授業デザイン
をどう考えた？

チームとして
意識を高める

教師の目線から
子供の目線へ

アセスメントは
「きっかけ」づくり

子供自身が
自分の特性を知る

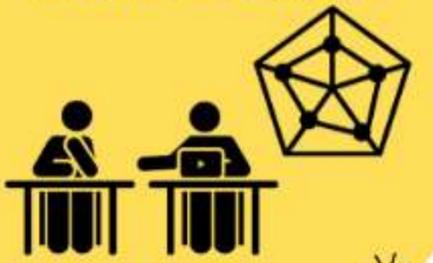
アセスメント
を活かした授業

「子供の姿」が
教師の意識を変える

チームとして
意識を高める

教師の目線から
子供の目線へ

CLICK HERE



長野市立鍋屋田小学校
長野市立山王小学校

伊那市立東部中学校
松本市立開成中学校

長野市立山王小学校
伊那市立東部中学校

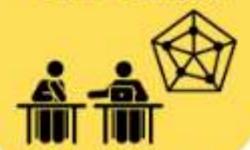
佐久市立高瀬小学校・中込小学校
塩尻市立桔梗小学校

佐久市立高瀬小学校・中込小学校
塩尻市立桔梗小学校

佐久市立高瀬小学校・中込小学校
塩尻市立桔梗小学校

全ての児童生徒
 を包み込む
 授業デザイン
 をどう考えた？

アセスメント
 を活かした授業



長野市立山王小学校
 伊那市立東部中学校

アセスメント結果を活かした授業改善シートで、実際に授業をやってみた！

アセスメント結果を活かした授業改善シートを基に、小学校6年生の体育の授業で、パラスポーツのゴールボールを題材として授業を実践した。

長野市立山王小学校

2つのアセスメント結果(しなのきfinder、LITALICO教育ソフト)から授業づくりのポイント考えた

「授業改善シート」を活かした授業実践

しなのきfinder から



- ① 「**活性的ポジティブ感情 (低)**」
「**適応力 (高)**」 → パラスポーツ『ゴールボール』
- ② 「**自学自習・計画性、活性的ポジティブ感情 (低)**」
「**コミュニケーション能力 (高)**」 → ・作戦板(磁石・マーカー)
・iPadでの動画撮影
- ③ 「**自己肯定感、活性的ポジティブ感情 (低)**」
「**協調性 (高)**」 → ・作戦⇄ゲーム・毎時4ローテ
・授業評価 & 学び振り返り

「授業改善シート」を活かした授業実践

LITALICO から



- ① 「**単元導入時に問いや見通しをもつ工夫**」
「**友だちの気持ちやよさを認め合う**」 → ・山王小ルール、方法を考える
・作戦タイム、振り返り等
- ② 「**学習の流れや課題を明示**」
「**計画の流れや見通しがもてる**」 → ・作戦板に課題を明示
・前単元バレーと同じローテ
- ③ 「**タイマー使用、視覚的支援**」 → ・デジタイマーで活動
・ローテ、ルールを視覚化
- ④ 「**役割分担を明確に**」
「**関わりが持てる編成**」 → ・学習カードで明確な分担決め
・生活班で編成
- ⑤ 「**スモールステップ**」 → ・見て試合→目隠しで試合
・ボール、ルールの難易度等

アセスメント結果から「技能差が生まれづらい」題材の方が全員が楽しめ積極的に活動ができると考え、パラスポーツのゴールボールを題材とした。また、アセスメント結果から考えられる手立てを授業改善シートに整理した。授業では、子供たちが互いに声をかけ合い、iPadを活用して作戦を共有する姿が見られた。

[公開授業での参観者、有識者から感想などをふまえ、さらに授業改善へつなげていく]

- ・アセスメントは、教師が同じスタートラインに立つ土台作りとして効果的。
- ・アセスメントをとることが目的ではなく、アセスメントを通して、教師がチームとなって子供と在る姿を考え、思っていくことが子供を支えることにつながると改めて感じた。
- ・この授業を通して、通常授業で、UD化できる工夫がまだまだたくさんあると感じた。
- ・技能差があっても楽しめる授業
 →山王小が目指す、多様性を認め合う体育の授業についてさらに考えていく必要性。



05

児童たちの振り返り

01

視界が遮られた中での工夫・作戦を立てて結果につながった

- 助走をつけて投げたら2点入れられて嬉しかった。
- 相手の正面ではなく、角度をつけてボールを転がすことができた。
- 何回も床の糸をさわって、自分の場所を確認して守備ができた。
- 寝転び作戦をやったら、何回もボールがとれた(失点を防げた)。
- ボールが体を上を通ったので、次からは三日月作戦か、直線作戦、どちらにしようか考えたい。

⇒視界を遮っても、意欲をもって工夫しようとする姿

通常の球技では思いつかないようなユニークな作戦を立てて、チームで試行錯誤する姿

3つの観点	9つの行動
未来に向かって 自分を高める 【みらい】	夢や目標に向かって継続して努力する（意欲・粘り強さ等）
	自信をもって行動し新しいことに挑戦する（自信・チャレンジ等）
	自ら問いをもち、自ら学びを進める（自学自習・計画性等）
他者を思いやり つながる 【きずな】	自分の考えを伝え、他者の考えを聴く（コミュニケーション力等）
	自分を受け入れ、他者を尊重する（自己受容・他者理解・共感性等）
	折り合いをつけながら、他者と協働して取り組む（協調性・折衝力等）
自分をよりよい 状態にする 【じりつ】	規範意識をもち、ルールやマナーを守る（規範意識・自制心等）
	自分の感情や行動をコントロールする（自己コントロール・楽観性等）
	経験から学び、前向きに取り組む（回復力・適応力等）

05

児童たちの振り返り

02

コミュニケーションの取り方

- ・「○○さん！右！」「左！」などと声かけをして状況を知らせて、協力して守備をすることができた。
- ・声かけをし合うことで、攻撃をするときに、人と人之間をねらおうと意識することができた。
- ・審判のときに、わかりやすくボールを渡すために「○○くん」など名前を呼んで渡すことができた。
- ・主審をやるとき、自分にとっては大きな声でも、他の人(コートにいる人)には聞こえにくいようなので、もっと大声で審判ができるようにしたい。

⇒視覚情報がない中でも、コミュニケーションを取りながら、よりよい攻撃・守備につなげようとする姿
審判としての責任感・コート上のプレイヤーへ気配りをしようとする姿

3つの観点	9つの行動
未来に向かって 自分を高める 【みらい】	夢や目標に向かって継続して努力する（意欲・粘り強さ等）
	自信をもって行動し新しいことに挑戦する（自信・チャレンジ等）
	自ら問いをもち、自ら学びを進める（自学自習・計画性等）
他者を思いやり つながる 【きずな】	自分の考えを伝え、他者の考えを聴く（コミュニケーション力等）
	自分を受け入れ、他者を尊重する（自己受容・他者理解・共感性等）
	折り合いをつけながら、他者と協働して取り組む（協調性・折衝力等）
自分をよりよい 状態にする 【じりつ】	規範意識をもち、ルールやマナーを守る（規範意識・自制心等）
	自分の感情や行動をコントロールする（自己コントロール・楽観性等）
	経験から学び、前向きに取り組む（回復力・適応力等）

05

児童たちの振り返り

03

未知・未体験への挑戦

- ・最初は周りが見えないことに慣れていなくて、守備の範囲がせまかったけど、試合を重ねるうちにだんだん広い範囲での守備ができるようになった。
- ・最初は目隠しをするのが怖かったけど、楽しめるようになってきた。
- ・目隠しをしても、自信をもって動けるようになった。素早く反応できるようになった。
- ・真っ暗な状態でも、怖がらずにできた。

⇒視界が遮られた中でも、自信をもってプレーできるように

3つの観点	9つの行動
未来に向かって 自分を高める 【みらい】	夢や目標に向かって継続して努力する（意欲・粘り強さ等）
	自信をもって行動し新しいことに挑戦する（自信・チャレンジ等）
	自ら問いをもち、自ら学びを進める（自学自習・計画性等）
他者を思いやり つながる 【きずな】	自分の考えを伝え、他者の考えを聴く（コミュニケーション力等）
	自分を受け入れ、他者を尊重する（自己受容・他者理解・共感性等）
	折り合いをつけながら、他者と協働して取り組む（協調性・折衝力等）
自分をよりよい 状態にする 【じりつ】	規範意識をもち、ルールやマナーを守る（規範意識・自制心等）
	自分の感情や行動をコントロールする（自己コントロール・楽観性等）
	経験から学び、前向きに取り組む（回復力・適応力等）

05

児童たちの振り返り

04

全身を使った運動

- ・全身を使って守備ができて、点を取られないようにすることができた。
- ・全身を使ってブロックした。 ・両手両足を伸ばして守りができた。
- ・その場ですぐ投げる(転がす)だけでなく、3～4歩助走をつけて投げて得点につなげることができた。
- ・助走を思い切って大きくしてみた。守りが惜しかったから、最後まで手を伸ばしたい。

⇒運動量を確保したパラ学習の可能性

05

パラリンピック競技への興味関心

- ・パラリンピアンと同じ気持ちでプレーすることができた。
- ・パラリンピック競技を楽しむことができた。
- ・初めてのゴールボールだったので楽しかった。

⇒パラ「体験」ではなく、単元としての可能性

06

参観者の声

[概要]

特別支援学級在籍児童も意欲的に参加できる題材、参加までの経緯
⇒「パラ競技」を通した
授業のユニバーサルデザイン化

01

附属中学校の先生より

- Fさん(特別支援学級在籍)を中心に参観しました。Fさんは、応援でもプレーヤーとしても作戦を立てる時も、ずっとチームの輪に入って、自分の思いを語る場面がありました。自分の役割や居場所、「ここにいていいんだ」と感じる所属感を、Fさんが感じながら授業に参加している姿だと感じました。それは、ゴールボールという題材やサングラスでの参加を決めるに至る経緯、その時の周りの友だちの声かけなど、様々な要素がつながっての本時だということ学びました。
- どの子も共に学ぶことができるような土台をつくるために複数のアセスメントを活用すること、社会的な目標を明示することで、どの子も参加でき、様々な能力が発揮されること、子どもたちが自分で学ぶことができる環境を全体に向けて整えることなど、多くのことを学びました。

02

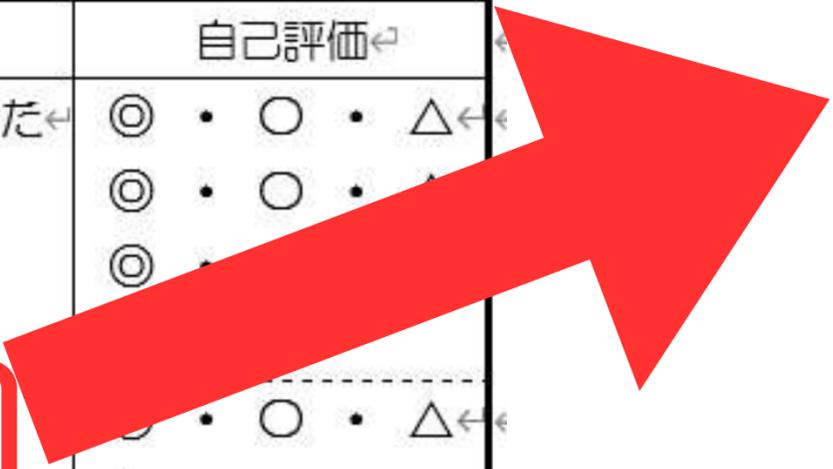
信州大学教職大学院 現職派遣院生より

- 支援が必要な子がわからないくらいにユニバーサルデザインが意識された授業だった。
- パラスポーツを体育の授業で取り組むチャレンジが素晴らしいと思った。これまで特活でやったことはありましたが、体育の見方・考え方で学ぶことができそうで、まだまだこれから可能性がありそうだと発見した。

メンバー名	番号	係1	係2	係3	メンバー名	番号	係1	係2	係3
		コ・ピ	主・副主	主・副			コ・ピ	主・副主	主・副
		得・ポ	作・iPad	校・駐			得・ポ	作・iPad	校・駐
		コ・ピ	主・副主	主・副			コ・ピ	主・副主	主・副
		得・ポ	作・iPad	校・駐			得・ポ	作・iPad	校・駐
		コ・ピ	主・副主	主・副	チームのピプスの色				
		得・ポ	作・iPad	校・駐	赤 ・ 青 ・ 緑 ・ オレンジ				
個人で意識したいこと					班で意識したいこと				
自分の係1 (準備+片づけ)		① コーン(6-1=ステージ側 6-2=マット側) ②ピプス □=5人チームは2人選出							
自分の係2(作戦)		① キャプテン ②副キャプテン ③作戦板・マーカー持参+管理 ④iPad持参+管理							
自分の係3(審判)		① 主審 ②副審+得点板 ③校舎側ボール拾い+コーン ④駐車場側ボール拾い+コーン							

日にち	学習問題	振り返り	自己評価
	【学習問題】	<ul style="list-style-type: none"> 係の仕事を、責任をもち協力してできた 仲間に具体的な声かけができた チームで必要な作戦を<u>考えたり</u>、選んだりすることができた 	◎ ・ ○ ・ △
	【意識したこと・次回できるようにしたいこと】	<ul style="list-style-type: none"> チームの作戦が達成できるように、粘り強く取り組んだ チームの作戦が達成できるように、自信をもってチャレンジした 	◎ ・ ○ ・ △

しなのきFinderでの
数値が低かった項目
を振り返りの項目に



06

参観者の声

[概要]

学生(院生)

行政職(県教育委員会など)

⇒教職員以外の大人にとっても学びや気づきを得られる機会に

01

上越教育大学 教職大学院生(学卒院生)より

- ・デジタルタイマー、ホイッスルを用いた「視覚的・聴覚的支援」を行うことで、前半・後半交代の際、子どもたちが「3・2・1」と終了の共有を行うなど、次の動きにスムーズに以降していた。授業のはじめに、チームとしてどうやっていけばいいのか考えるよう促す声掛けによって、その後の作戦会議で子どもたちはチームとしての動きを積極的に考えていた。
- ・まず初めに感じたのは、学校の雰囲気良さです。職員室の雰囲気は学級に、そして学校全体にと考えていますが、初めて山王小学校に来た時、その雰囲気良さに驚かされました。子どもたち一人ひとりがみんなのために、集団のために考えて動くことができるのは、日頃から先生方が子どもたちに願っている願い、そして想いが伝わっているからだと強く感じました。大変心温まる時間でした。

02

県教委 教育政策課の方より

- ・通常学級とそうでない学級の児童、学年合同での授業実践の様子から、クラスや年齢を超えた異なる他者との関わるの中で学ぶということの実現の可能性を強く感じた。
- ・行政職として、教育委員会で子どもたちのための新しい学びの環境づくりを検討しているが、意見交換会で先生方が特定の子どもに注目しての気づきや先生のねらいの発見などの発表を伺い、先生方が一時間の授業でたくさんことを見て気づいていることに驚かされた。行政職の自分にはもてない視点であると実感すると同時に、改めて学校現場の挑戦を支え、後押しできるような県教委の施策の実行に力を入れていきたいという思いを新たにしました。

07

検討事項・今後に向けて

1

難聴学級の児童が在籍
している場合どうする？

2

視界が遮られている中
試合中のよいプレーを
どのように児童に伝えるか？

3

ゴールボールは何型？

07.5 子どものことなのに…その場の大人だけで進めていませんか？

1

授業研究会(検討会)
各種研修会

2

ルール(校則など)

3

条例・政策

例：公開(研究)授業

学生さん、保護者、行政の方…
もっと広く公開(広報)して、
気づいたことを意見交換し合う
のは？

当事者(本人たち)の声が反映される仕組みって？

時間かからない？

大人と子どもたちの考えが大幅に異なったときは？

大人も子どもたちも、余白をつくるには？

2026年2月4日

信州学び円卓会議
ともつくフォーラム

2つのアセスメント結果を 生かした体育授業

学びの改革パイオニア校での「ゴールボール」の実践を通して



上田市立東小学校 附田賢一

ご清聴ありがとうございました

